

# MONTHLY REPORT



## NBC RAISES CAMBODIA'S 2025 GROWTH FORECAST TO 6.2%

DRIVEN BY EXPANDING EXPORTS, TOURISM, AND FOREIGN INVESTMENT, CAMBODIA CONTINUES ITS STRONG ECONOMIC GROWTH, SOLIDIFYING ITS POSITION AS A KEY DRIVER OF ASEAN'S DEVELOPMENT.



GOLDEN CAMBODIA CENTURY

## GC Orussey Market 2月 建設進捗報告

GCOプロジェクトは、現在、コンクリート擁壁（Retaining Wall）の設置と柱（Column）の構築作業が進行中です。この擁壁は、周囲の土砂崩れを防ぎ、建物の基盤を強化する重要な構造物となります。工期の遅れを最小限に抑えるため、スタッフは昼夜を問わず作業を続けています。特に基礎工事の段階では、高い精度とスピードが求められるため、現場は常に稼働しています。安全管理を徹底しつつ、一日でも早い完成を目指してまいります。





2025 02 05

新しい年を迎え、GCオールセーマーケットは引き続き成長と発展を目指し、2025年の新たなステージへ進みます。昨年の皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。旧正月9日目は「吉祥開工」の日とされ、ビジネスの発展や成功を願う重要な節目となります。この良き日に、私たちは今後の機会と挑戦に向けて歩みを進めてまいります。皆さまの変わらぬご支援に感謝しつつ、2025年がさらなる発展の年となるよう尽力してまいります。





CAMBODIA  
MY 2ND HOME

## Latest Information

2025 02 05

新年快樂！カンボジアやアジア各国で祝われる旧正月が到来しました。  
私たち CM2H では、本年も「カンボジアの魅力の世界へ」をテーマに、皆さまと共に素晴らしい未来を築いていくことを目指して活動してまいります。  
CM2H は、2025年も引き続き、カンボジアの文化・ビジネス・観光の魅力を国内外へ発信し、より多くの方々と繋がる機会を創出していきます。



2025 02 26

CM2Hのプノンペン事務局に、タイからの訪問客をお迎えしました。  
CM2H（カンボジア・セカンドホーム・プログラム）は、カンボジア内務省に正式認定されたプログラムであり、外国人投資家や駐在者に多くのメリットを提供しています。ビジネスの円滑な展開から、戦略的な投資機会まで、魅力的な制度を整えています。  
今後もCM2Hは、海外からの関心に応えながら、さらなる発展を目指してまいります。



# CAMBODIA

---

## LATEST INFORMATION

2025 02 27

### カンボジアと日本、JCM申請手続きの簡素化で協力



[出典：Cambodia, Japan join forces to simplify JCM application process](#)

貿易政策諮問委員会とアジア・ゲートウェイ・コーポレーションは、排出量削減を目的とした世界的な炭素クレジット制度である共同クレジット制度（JCM）を通じた資金支援の確保に関するセミナーを共催しました。カンボジアにおけるより大規模な再生可能エネルギーおよびエネルギー効率化プロジェクトに対する日本政府からの財政支援の機会と題されたこのセミナーには、カンボジアの様々な組織の代表者が参加しました。日本政府は29カ国とJCM融資プログラムを設立しています。

2025 02 23

### カンボジアと日本、知的財産（IP）教育プログラムの共同開発へ



[出典：Cambodia, Japan join hands on IP rights awareness initiative](#)

2025年2月21日、カンボジアと日本は、高校や大学における知的財産（IP）権の意識向上を目的とした教育プログラムの共同開発を進めることで合意しました。この決定は、カンボジア商務省（MoC）顧問であり、国家知的財産管理委員会の事務局長および知的財産局長を務めるソウン・ヴィチュア氏と、日本の工業所有権情報・研修館（INPIT）所長の吉田 知美氏との会談で決まりました。この会談は、カンボジア商務省、日本ロジック規制委員会、日本貿易振興機構（JETRO）が共催した「イノベーションの促進：知的財産と教育」をテーマとするセミナーの一環として実施されました。

2025 02 21

### カンボジアと日本の二国間協力を促進、CJKAブランドの立ち上げ



カンボジア日本希望協会（CJKA）は、カンボジアと日本の関係強化、投資、貿易、観光協力の促進を目指し、日本の大阪でブランドを立ち上げました。同協会は2024年6月に設立され、両国の文化交流を促進し、友好関係を強化するためのセミナー、ビジネスフォーラム、協議会などを開催しています。

2025 02 21

## スペースX - スターリンク、カンボジアでの投資機会を探る



出典：SpaceX - Starlink explores investment opportunities in Cambodia (VIDEO).

イーロン・マスクが2002年に設立したアメリカの宇宙開発企業スペースX（SpaceX）と、その衛星インターネット事業スターリンク（Starlink）のマーケティングディレクターであるレベッカ・ハンター氏が、カンボジアの商務省（MoC）および郵便・電気通信省（MPTC）を訪問しました。2月20日にはMPTCのチェア・ヴァンデス大臣と会談し、通信サービスの近代化を協議しました。翌21日にはMoCのチェア・ラタ国務長官と電子商取引プラットフォーム強化のための投資拡大の可能性を検討した。今後、通信規制当局（TRC）とも協議を進める予定です。ハンター氏はまた、フン・マネ首相とも会談し、スペースX - スターリンクのカンボジアへの投資の可能性と、同国の技術開発を支援する役割について話し合いました。

2025 02 21

## 政府は社会保護に20億ドル以上を支出



出典：Govt spent over \$2B on social protection coverage

カンボジア王国政府（RGC）は、国家社会保護制度に20億ドル以上を費やし、700万人の国民を支援している。この制度は、480万人の国民に恩恵を与える国家社会扶助と、240万人の労働者をカバーする国家社会保障に重点を置いています。2024年までに、政府は扶助制度に2億8500万ドル、保障制度に5億7400万ドルを投資しました。オン・ポーンモニロット副首相兼経済・財務大臣は、政府が生活水準の安定と失業率の低減のために14億2000万ドルを割り当てたことを強調しました。新しい基本計画は、気候変動、経済発展、社会福祉に取り組み、持続可能な成長を促進することを目的としています。

2025 02 19

## NBC、カンボジアの25年度成長率予測を6.2%に引き上げ



出典：NBC raises Cambodia's FY25 growth forecast to 6.2 percent

カンボジア国立銀行（NBC）は2024年5月10日に2023年の年次報告書を発表しました。本報告書によると、カンボジアの経済成長率は2025年に6.2%に達し、インフレ率は2.6%と緩やかに推移すると予測されています。同レポートは、衣料品輸出と非衣料品、観光、農業、建設の成長を示唆しています。しかし、米国の保護主義政策、世界経済の減速、金融市場の不安定化、中国の経済成長の鈍化、輸出特権や海外からの資金調達源の喪失などの外部リスクは、経済成長に影響を与える可能性があります。



2025 02 18

## 首相、5つの州の清潔な水ネットワークを拡大するために6,000万ドルを計上



フン・マネット首相は、人口増加と清潔な水への需要の高まりを受け、5つの省のインフラと清潔な水ネットワークへの投資を拡大するために6,000万ドルを割り当てました。この決定は、王室政府草の根作業グループの2024年草の根努力と2025年実施目標に関する会議の中で行われました。政府は各地に清潔な水ネットワークを構築しているが、清潔な水の需要は増加し続けています。

出典：[PM earmarks \\$60 million to expand clean water networks in 5 provinces](#)

2025 02 17

## 活況を呈する金採掘部門、鉱産料で約9000万ドルを獲得



ルネッサンス・ミネラル（カンボジア）社のような企業が金の採掘に成功するなど、カンボジアの金採掘事業は大きく進展しています。政府は9,000万ドル近い鉱産料を徴収しており、この国の潜在力が高まっていることを示しています。Renaissance Minerals社は、13,720.9キログラムの金を精製し、毎月300~400キログラムの採掘能力を有しています。金採掘の可能性のある他の州には、クラティ、コンポントム、トゥブーンクム、バットアンバン、カンポット、オッターール・ミアンチェイなどがあります。

出典：[Booming gold mining sector yields nearly \\$90 million in mineral fees](#)

2025 02 17

## カンボジアとオーストラリア、輸出促進のための覚書に調印



カンボジアとオーストラリアの民間セクターは、オーストラリア市場へのカンボジア製品の輸出を促進・促進するための3つの覚書に署名しました。覚書はオーストラリアのシドニーで、カンボジアのチョム・ニモル大臣とカンボジア・オーストラリア両国の企業代表の立会いの下、調印されました。この動きは、両国間の貿易が拡大する中で行われました。

出典：[Cambodia, Australia ink MoUs to promote exports](#)

2025 02 16

## MoC、パキスタンでFoodAg製造展示会を開催

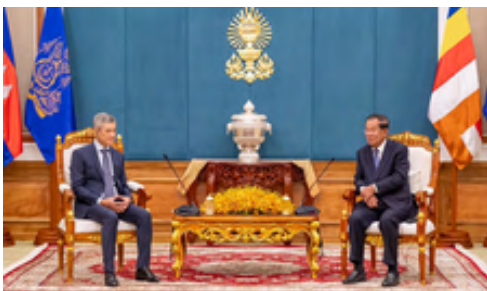


出典：[MoC to organize FoodAg Manufacturing Exhibition in Pakistan](#)

カンボジア商務省とパキスタン貿易開発庁は、2月26日から28日までパキスタンのラホールで第1回FoodAg 製造展示会を開催しました。このイベントは、世界の食品加工企業が輸出のためにパキスタンに製造施設を設立することを奨励し、食品加工、物流、農業生産性を向上させることを目的としていました。また、人脈作り、新たなグローバル・パートナーシップの形成、革新的な製品の紹介、農業分野での協力や合併事業の模索の機会も提供しました。同展示会は、農業・製造業におけるパートナーシップの拡大と企業間の関係強化のためのプラットフォームとして機能しました。

2025 02 13

## フン・セン氏、カンボジアとベトナムのさらなる関係強化を呼びかけ



出典：[Hun Sen calls for further solidifying Cambodia, Vietnam ties](#)

2025年2月12日、Senate Palace において、フン・セン上院議長は、ハノイが200億ドルの貿易目標を達成するための経済協力に取り組んでいるにもかかわらず、カンボジアとベトナムの二国間貿易協定の拡大を求めた。フン・セン氏はベトナムのグエン・ミン・ヴァー大使に対し、政治関係を強化し、ポル・ポト政権の復活を防ぐための重要な基盤であるとして、両国間の経済協力の促進に注力するよう求めた。

2025 02 12

## フィリピン大手企業、カンボジアへの投資に意欲



出典：[Major Philippines firms keen to invest in Cambodia](#)

サンミゲル・コーポレーション (SMC)、エクセレント・アソシエイツ・グループ・リミテッド (EAGL)、ワールド・シティ・グループ (WCG) を含むフィリピン企業は、カンボジアの物流、農業、保健分野への投資に関心を示しています。これらの提案は、マニラでのフン・マネット首相との会談の中でなされた。ニノイ・アキノ国際空港を管理するSMCは、地元企業との提携を通じて物流インフラへの投資を計画しています。フン・マネット首相は、カンボジアにおける新たな投資機会、特に高速道路開発と農業に注目しました。

2025 02 11

## カンボジアの貿易額、1月は50億ドル超に急増



税関総署によると、カンボジアの2025年1ヶ月の貿易額は、輸出が17.3%増、輸入が316%増の50.5億ドルに増加しました。貿易相手国のトップ5は、中国、米国、ベトナム、タイ、日本でありました。中国は依然として貿易相手国のトップで、その総額は15億ドルにのぼる。米国はカンボジアの第2位の貿易相手国であり、貿易総額の97.2%を輸出が占めています。

出典：[Cambodia's trade volume soars to over \\$5 billion in Jan](#)

2025 2 11

## CCCとPCCI、貿易関係強化で合意



カンボジア商工会議所とフィリピン商工会議所は、両国間の貿易と投資を促進するためのビジネスフォーラムをマニラで共催します。主なトピックは、ビジネスチャンス、潜在的な分野、投資奨励政策などである。このフォーラムは、フィリピンの投資家にとって安定した安全な環境を育成することを目的とし、ビジネスマンや投資家をカンボジアに招待します。また、両国のビジネスマンによるビジネス・マッチング・セッションも開催されます。

出典：[CCC, PCCI agree to boost trade ties](#)

2025 02 10

## カンボジアとサウジアラビア、貿易関係の多様化に向けてMoUを締結



カンボジアとサウジアラビアは、二国間の貿易協力を強化するための覚書に署名しました。MoUは貿易を多様化し、投資家に新たな機会を創出することを目的としています。両商務大臣は、協力を強化し、効果的な実施を確保するための戦略について協議した。また、サウジアラビアのビジネスセンターを訪問し、ホスピタリティと運営プロセスのデモンストレーションを行いました。

出典：[Cambodia, Saudi Arabia ink MoU to diversify trade ties](#)

2024 02 07

## 日本企業がカンボジアを投資拠点として注目



世界的な貿易戦争の中、日本企業はカンボジアを含む東南アジア諸国に投資を振り向けることで拠点を多様化しています。これは、カンボジアのヴォンシー・ヴィソット副首相との会談で話し合われたもので、岩尾信之内閣法制局長官、蒲生篤美日本政府観光局理事長とも会談しました。労働力不足、熟練労働者の育成、新規事業への支援、投資優遇措置などが主な議題として話し合われました。

出典：[Japanese firms eye Cambodia as an investment base](#)

2024 02 06

## フン・マネット首相がホンダを訪問、カンボジア人の雇用拡大に期待

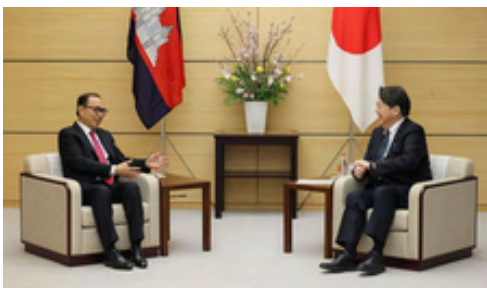


カンボジアのフン・マネット首相は、プノンペンのポーセンチェイ地区にあるNCX社（ホンダ）の工場を訪問しました。カンボジアで最大かつ最も影響力のある会社のひとつである同社は、1,221人のカンボジア人を雇用し、彼らの技能を向上させるプログラムを実施しています。同社は5種類のオートバイを組み立て、その生産能力を1日当たり650~1,500台に高めています。

出典：[PM visits Honda Co, excited to see more Cambodians employed](#)

2025 02 06

## 日本、サイバーセキュリティ強化のためカンボジアにさらなる支援を約束

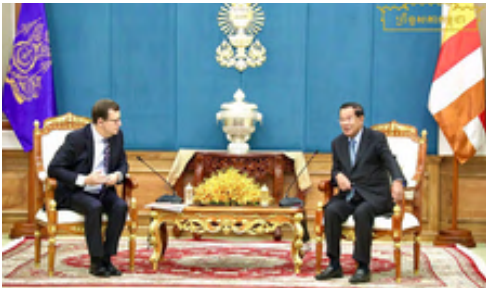


出典：[Japan vows more support to Cambodia to boost cybersecurity](#)

カンボジアは、経済の様々な分野を標的としたサイバー犯罪が増加する中、サイバーセキュリティ強化のための更なる支援を約束した。ヴォンシー・ヴィソット副首相と林芳正官房長官は、二国間関係の拡大と戦略的パートナーシップについて協議した。日本は、カンボジアの選挙プロセスのためのサイバーセキュリティ機器購入のため、7億5000万円（500万ドル）を無償で提供する。この合意は、公正な選挙の実施とサイバー攻撃の影響の増大という課題に対処することを目的としている。この会談は2025年2月4日に日本で行われました。

2024 02 05

## 日本企業に製薬・食品産業への投資を促す



上院議長のフン・セン氏は、日本企業に対し、製薬や食品加工などの分野でのビジネス機会を探るよう促しました。また、カンボジアでの成功を収めた日本たばこインターナショナル（JTI）を祝福し、同社の財務コンプライアンスや、環境に優しい持続可能な開発への取り組みを高く評価しました。フン・セン氏は、王国政府の社会経済発展に貢献するため、引き続き民間セクターと会合を行う予定です。この会談は、2025年2月3日に上院（セネート）で行われました。

出典：[Japanese firms urged to invest in pharma, food industries](#)

2024 02 04

## ITCと日本のシンクタンク、エネルギー管理の共同研究でMoUを締結



カンボジア工科大学(ITC)は、日本研究開発戦略センター(CRDS)とエネルギー管理と電力に関する共同研究を行います。日本は、カンボジアのプノンペンの送電網を改善・近代化するため、5,500万ドルの融資を行っています。このプロジェクトは、電力供給の安定性を高め、持続可能な経済成長に貢献することを目的としています。

出典：[ITC, Japanese think tank ink MoU for joint research in energy management](#)

2025 02 03

## カンボジアの観光セクターが新境地を開拓、36.3億ドルを稼ぐ



出典：[Cambodia's tourism sector breaks new ground, earns \\$3.63 billion](#)

2025年1月31日、カンボジア観光省（MoT）は、2024年のカンボジア観光部門の収入が36億3000万ドルで、前年の30億8000万ドルから17.8%増加したと報告しました。カンボジアは670万人の外国人観光客を受け入れ、2023年の545万人から22.9%増加しました。外国人観光客の最大の供給源はタイで、ベトナム、中国がこれに続きました。観光客の利便性向上、平和、政治的安定など、政府の効果的な戦略が観光セクターの回復に重要な役割を果たした。観光をさらに促進するために、MoTは2025年1月1日からe-Visa割引を導入し、カンボジアを旅行先として宣伝するために様々なパートナーと協力している。観光部門は依然としてカンボジア経済の重要な柱であり、著名なユネスコ世界遺産に支えられています。

2024 02 03

## 文部科学大臣、ASEAN金融統合における日本の重要な役割を強調



出典：[Minister highlights Japan's key role in ASEAN financial integration](#)

2025年1月30日、プノンペンの日本大使館で開催された日・ASEAN金融技術協力20周年記念式典において、ハン・チュオンナロン文部科学大臣は、ASEANの金融協力における日本の重要な貢献を賞賛しました。また、1997年のアジア金融危機後、地域金融の安定を促進し、カンボジアのLDCからの移行を支援した日本の役割を強調しました。ナロン氏は、ASEAN+3債券市場イニシアティブ（ABMI）やチェンマイ・イニシアティブ（CMI）などのイニシアティブを称賛し、カンボジアの株式市場と銀行セクターの発展における日本の継続的な支援を強調しました。イベントには、上野篤日本大使を含む著名人が出席しました。

2024 02 02

## 投資と二国間関係をさらに強化するためにヴィソット氏が来日



出典：[Vissoth visits Japan to further boost investment and bilateral ties](#)

ヴォンゼイ・ヴィソット副首相が代表団を率いて2月1日から9日まで日本を訪問し、日本の主要な指導者と会談し、カンボジアへの投資やビジネスチャンスについて話し合い、貿易を促進し、カンボジア王国政府の政策に沿った投資を促進します。今回の訪問では、日本の投資家が直面する懸念や課題を理解するため、JETROや日本カンボジア協会との会合も予定されています。

2024 02 03

## マレーシアとオーストラリアの投資家、カンボジアの農業産業への投資の可能性を探る



出典：[Malaysia, Australia investors explore potential investment in Cambodia's agro-industry](#)

2025年1月29日、マレーシアとオーストラリアは、コンボンスプー州農林水産局のYim Norn局長との会談で、カンボジアの農産業・農業分野への投資機会について話し合いました。投資家たちは、有機野菜の栽培、家畜の飼育、輸出用の香り米やマンゴーなどの作物の栽培に興味を示しました。Norn氏は、同州の農業の可能性を強調し、これらの投資が雇用機会を創出することを強調しました。

株式会社GCCジャパン  
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8  
外苑ビル8階  
TEL:03-5927-1882  
E-mail: [central@gccjapan.co.jp](mailto:central@gccjapan.co.jp)

